



発行 東京都

目次

77

告示

○東京都統計調査条例による統計調査の名称等………
………（福祉保健局総務部総務課）…

告示

●東京都告示第千二百四十五号

東京都統計調査条例（昭和三十二年東京都条例第十五号）第三条の規定により、統計調査の名称等を次のとおり告示する。

令和三年十月五日

東京都知事 小池 百合子

一 統計調査の名称

令和三年度東京都福祉保健基礎調査（都指定統計調査第四号）

二 目的

東京都内における各世帯及び世帯員の生活実態と意識を把握することにより、東京都における福祉施策充実のための基礎資料を得ることを目的とする。

三 調査事項

- (一) 基本的属性
- (二) 就労の状況
- (三) 住居の状況
- (四) 収入の状況
- (五) 介護等の状況
- (六) 住まいや外出先のバリアフリーの状況
- (七) 東京都の「福祉のまちづくり」
- (八) 子育て支援
- (九) 障害者支援
- (十) 地域福祉

四 調査の対象範囲

調査事項の(一)から(五)までは、東京都内に居住する住民基本台帳から無作為に抽出した六千世帯を対象とする。調査事項の(六)から(十)までは、東京都内に居住する調査基準日現在満二十歳以上の世帯員を対象とする。

五 実施方法

調査員が調査対象世帯を訪問し、調査票を配布する。調査対象者は回答を記入した調査票を郵送にて東京都に提出する。

六 調査時期

令和三年十月十三日から同年十一月十二日まで

七 調査基準日

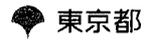
令和三年十月十三日

八 調査票

調査票は、次の東京都福祉保健基礎調査票とする。



東京都指定統計調査第4号 総務省届出済



令和3年11月12日(金)までにポストに投函をお願いします

「令和3年度東京都福祉保健基礎調査」 調査票①

－世帯と世帯員の状況－

【調査の目的】

この調査は、都民の方に、就労、住宅、所得及び介護の状況等についてお聞きするものです。
この調査は、昭和56年から5年ごとに行っており、今回が9回目です。都民の生活や考え方が時代とともに、どのように変わっているかを知る貴重なデータとして、これまでの調査を東京都の福祉保健施策に活用させていただきます。

【秘密保持について】

この調査票にご記入いただいた内容は、統計作成のみに使用し、他の目的で使うことはありません。
また、調査結果は、「〇〇と回答した人が50%」というように、個人が特定されない形でまとめます。
お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

※ 問合せ先は裏表紙にございます。

(調査員が記入)

調査票	調査番号				No	回答状況					調査地区
	地区番号	世帯番号				1	2	3	4	5	
1											

1 ご回答にあたって

- あなたの世帯と世帯員全員について、**令和3年10月13日現在の状況**をお答えください。
- 「世帯」とは調査基準日現在、同一住居又は同一敷地内の別棟にあり、かつ、**生計を共にしている人々**(世帯員)の集まりをいいます。
例)二世帯家族(親夫婦、子夫婦など)が一つの家に住んでいる場合
家族全員が**生計を共にしている**ときは、**一つの世帯**とします。
親と子供夫婦とが**生計を別にしている**ときは、別世帯と考えます。
- 「世帯員」とは調査基準日現在、この世帯に住んでいる人と、一時的(3か月以内)に不在の人をいいます。
例えば、旅行や出張中の人、入院中の人(ただし、住民登録を病院・診療所に移している人を除く。)及び船員など就業場所を移動する人は、世帯員に含めます。
なお、単身赴任や学業で世帯を離れている人、社会福祉施設に入所している人は、世帯員に含めません。
- 筆記用具は、鉛筆または黒のボールペンで記入してください。

2 回答方法

- 問** : 特に断りがない限り、**全ての方**がお答えください。
- 問** : **問** で特定の回答をした方のみ、矢印に従って回答してください。
- 「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を()内に記入してください。

○ 以下のとおり、太枠内のあてはまる番号に○をつけて回答してください。

例1：あなたの性別を教えてください。

1	男
2	女
3	その他

番号の背景が白い場合は、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

例2：同居している方を教えてください。

1	配偶者
2	子供
3	兄弟姉妹

番号の背景に色がついている場合は、あてはまるもの全てに○をつけてください。

例3：悩みごとはありますか？

1	病気
2	仕事
3	人間関係
4	ない

または

1	病気
2	仕事
3	人間関係
4	ない

白と色つきの両方の背景がある場合は、どちらか一方に○をつけてください。
白を選んだ場合は、○は1つだけ、色つきを選んだ場合は、あてはまるもの全てに○をつけてください。

問1から問10までについて

○ 世帯員が5人以上の場合には、調査票①を2冊使用し、2冊目の調査票の世帯員番号を手書きで訂正してください。

≪記入例≫ 世帯員が5人以上の場合

世帯員番号	1-5 (世帯主)	2-6	3	4
-------	--------------	-----	---	---

○ 世帯員の記入順序は、夫婦・親子の関係がある人を順に並べて記入してください。

(例) 夫婦(夫が世帯主)と子1人、世帯主の父母の5人家族の場合

1…世帯主 2…世帯主の妻 3…子 4…世帯主の父 5…世帯主の母

※世帯全員（20歳未満も含む。）について、ひとり1列でお答えください。

世帯員番号	1 (世帯主)	2	3	4
問1 世帯主（代表者） との続柄 (○は1つだけ)	※世帯主の方が単身赴任などで不在の場合、世帯の代表者の方を「1」に記入してください。			
	1 世帯主（代表者）	2 世帯主の配偶者	2 世帯主の配偶者	2 世帯主の配偶者
	2 世帯主の配偶者	3 子	3 子	3 子
	3 子	4 子の配偶者	4 子の配偶者	4 子の配偶者
	4 子の配偶者	5 孫	5 孫	5 孫
	5 孫	6 孫の配偶者	6 孫の配偶者	6 孫の配偶者
	6 孫の配偶者	7 世帯主の父母	7 世帯主の父母	7 世帯主の父母
	7 世帯主の父母	8 配偶者の父母	8 配偶者の父母	8 配偶者の父母
	8 配偶者の父母	9 祖父母	9 祖父母	9 祖父母
	9 祖父母	10 兄弟姉妹	10 兄弟姉妹	10 兄弟姉妹
	10 兄弟姉妹	11 その他の親族	11 その他の親族	11 その他の親族
	11 その他の親族	12 その他（親族以外）	12 その他（親族以外）	12 その他（親族以外）
	12 その他（親族以外）			
問2 性別 (○は1つだけ)	1 男 2 女 3 その他	1 男 2 女 3 その他	1 男 2 女 3 その他	1 男 2 女 3 その他
問3 出生の年月 (○は1つだけ)	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 5 令和	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 5 令和	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 5 令和	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 5 令和
問4 配偶者の有無 (○は1つだけ) ※内縁・事実婚も 「配偶者あり」に含む。	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別

問5
現在の保育・教育の状況

現在の保育・教育の状況について、お答えください。
 ※ 学校を卒業し、仕事のみをしている方や家事専業の方等は、「17 未就学・在学中以外」に○をつけてください。
 ※【未就学】は、乳幼児（小学校入学前：平成27年4月2日以降出生の人）の日中における保育の状況をお答えください。

【未就学】(○はいくつでも)	【未就学】(○はいくつでも)	【未就学】(○はいくつでも)	【未就学】(○はいくつでも)
1 認可保育所	1 認可保育所	1 認可保育所	1 認可保育所
2 認証保育所	2 認証保育所	2 認証保育所	2 認証保育所
3 認定こども園	3 認定こども園	3 認定こども園	3 認定こども園
4 認可外保育施設 (ベビーホテルなど)	4 認可外保育施設 (ベビーホテルなど)	4 認可外保育施設 (ベビーホテルなど)	4 認可外保育施設 (ベビーホテルなど)
5 保育ママ	5 保育ママ	5 保育ママ	5 保育ママ
6 乳幼児の父母 (在宅保育)	6 乳幼児の父母 (在宅保育)	6 乳幼児の父母 (在宅保育)	6 乳幼児の父母 (在宅保育)
7 乳幼児の祖父母 (在宅保育)	7 乳幼児の祖父母 (在宅保育)	7 乳幼児の祖父母 (在宅保育)	7 乳幼児の祖父母 (在宅保育)
8 幼稚園	8 幼稚園	8 幼稚園	8 幼稚園
9 その他	9 その他	9 その他	9 その他
【在学中】	【在学中】	【在学中】	【在学中】
10 小学校	10 小学校	10 小学校	10 小学校
11 中学校	11 中学校	11 中学校	11 中学校
12 高等学校	12 高等学校	12 高等学校	12 高等学校
13 短期大学・ 高等専門学校・ 専門学校	13 短期大学・ 高等専門学校・ 専門学校	13 短期大学・ 高等専門学校・ 専門学校	13 短期大学・ 高等専門学校・ 専門学校
14 大学	14 大学	14 大学	14 大学
15 大学院	15 大学院	15 大学院	15 大学院
16 その他	16 その他	16 その他	16 その他
17 未就学・在学中以外	17 未就学・在学中以外	17 未就学・在学中以外	17 未就学・在学中以外

問6
就業状況
(○は1つだけ)

令和3年9月中の就業の状況について、お答えください。
 ※収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」とします。
 ※仕事には、自営業の手伝いやパートタイム、アルバイトを含めます。

世帯員番号	1 (世帯主)	2	3	4
問6 就業状況 (○は1つだけ)	1 主に仕事	1 主に仕事	1 主に仕事	1 主に仕事
	2 家事などのかたわらに仕事	2 家事などのかたわらに仕事	2 家事などのかたわらに仕事	2 家事などのかたわらに仕事
	3 通学のかたわらに仕事	3 通学のかたわらに仕事	3 通学のかたわらに仕事	3 通学のかたわらに仕事
	4 その他	4 その他	4 その他	4 その他
	5 家事専業	5 家事専業	5 家事専業	5 家事専業
	6 通学のみ (小・中・高・大学など)	6 通学のみ (小・中・高・大学など)	6 通学のみ (小・中・高・大学など)	6 通学のみ (小・中・高・大学など)
	7 仕事を探している	7 仕事を探している	7 仕事を探している	7 仕事を探している
	8 働いていない (幼児・高齢・病気など)	8 働いていない (幼児・高齢・病気など)	8 働いていない (幼児・高齢・病気など)	8 働いていない (幼児・高齢・病気など)
問6-1 仕事の種類 (○は1つだけ) 複数の仕事がある場合は、 主な仕事を1つ選んで ください。	1 管理的な仕事	1 管理的な仕事	1 管理的な仕事	1 管理的な仕事
	2 専門的・技術的な仕事	2 専門的・技術的な仕事	2 専門的・技術的な仕事	2 専門的・技術的な仕事
	3 事務の仕事	3 事務の仕事	3 事務の仕事	3 事務の仕事
	4 販売の仕事	4 販売の仕事	4 販売の仕事	4 販売の仕事
	5 サービスの仕事	5 サービスの仕事	5 サービスの仕事	5 サービスの仕事
	6 保安の仕事	6 保安の仕事	6 保安の仕事	6 保安の仕事
	7 農林漁業の仕事	7 農林漁業の仕事	7 農林漁業の仕事	7 農林漁業の仕事
	8 生産工程の仕事	8 生産工程の仕事	8 生産工程の仕事	8 生産工程の仕事
	9 輸送・機械運転の仕事	9 輸送・機械運転の仕事	9 輸送・機械運転の仕事	9 輸送・機械運転の仕事
	10 建設・採掘の仕事	10 建設・採掘の仕事	10 建設・採掘の仕事	10 建設・採掘の仕事
	11 運搬・清掃・包装などの仕事	11 運搬・清掃・包装などの仕事	11 運搬・清掃・包装などの仕事	11 運搬・清掃・包装などの仕事
	12 その他の仕事	12 その他の仕事	12 その他の仕事	12 その他の仕事

【問6-2】 就労の形態 (○は1つだけ)	1 常雇の人	2 臨時雇の人	3 日雇いの人	4 会社などの役員	5 自営業主 (雇人あり)	6 自営業主 (雇人なし)	7 家族従事者 (自家営業の手伝い)	8 その他 ()
	問7へ							
	問6-2-1							
【問6-2-1】 勤務先での呼称 (○は1つだけ)	1 正規の職員・従業員	2 パート	3 アルバイト	4 労働者派遣事業所の派遣社員	5 契約社員・嘱託	6 その他 ()		
	問6-2-2							
	1 30人未満							
【問6-2-2】 企業規模・官公庁の別 (○は1つだけ)	2 30~99人	3 100~499人	4 500~999人	5 1000人以上	6 官公庁 ※独立行政法人を含む			
	問7へ							
	企業全体の従事者数							

6

世帯員番号	1 (世帯主)	2	3	4
【問7】 身体障害者手帳の取得状況 (○は1つだけ)	身体障害者手帳の取得状況についてお聞します。 ※身体障害者 (児) の方に交付される手帳です。			
	1 取得している	1 取得している	1 取得している	1 取得している
	2 申請中	2 申請中	2 申請中	2 申請中
【問7-1】 障害の種類 (○はいくつでも)	3 取得していない	3 取得していない	3 取得していない	3 取得していない
	問8へ			
	身体障害者手帳に記載されている (または申請中) の障害名は何ですか。			
1 視覚障害	1 視覚障害	1 視覚障害	1 視覚障害	
2 聴覚障害	2 聴覚障害	2 聴覚障害	2 聴覚障害	
3 平衡機能障害	3 平衡機能障害	3 平衡機能障害	3 平衡機能障害	
4 音声・言語・そしゃく機能障害	4 音声・言語・そしゃく機能障害	4 音声・言語・そしゃく機能障害	4 音声・言語・そしゃく機能障害	
5 上肢機能障害	5 上肢機能障害	5 上肢機能障害	5 上肢機能障害	
6 下肢機能障害	6 下肢機能障害	6 下肢機能障害	6 下肢機能障害	
7 体幹機能障害	7 体幹機能障害	7 体幹機能障害	7 体幹機能障害	
8 脳原性運動機能障害 (乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)	8 脳原性運動機能障害 (乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)	8 脳原性運動機能障害 (乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)	8 脳原性運動機能障害 (乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)	
9 内部機能障害	9 内部機能障害	9 内部機能障害	9 内部機能障害	

問8 愛の手帳の取得状況 (○は1つだけ)	愛の手帳の取得状況についてお聞きます。 ※知的障害者(児)の方に交付される手帳です。							
	1	取得している	1	取得している	1	取得している	1	取得している
	2	申請中	2	申請中	2	申請中	2	申請中
	3	取得していない	3	取得していない	3	取得していない	3	取得していない
問9 精神障害者保健福祉手帳の取得状況 (○は1つだけ)	精神障害者保健福祉手帳の取得状況についてお聞きます。 ※精神障害者(児)の方に交付される手帳です。							
	1	取得している	1	取得している	1	取得している	1	取得している
	2	申請中	2	申請中	2	申請中	2	申請中
	3	取得していない	3	取得していない	3	取得していない	3	取得していない

「40歳以上」の方にお聞きます。

問10 要介護・要支援認定の有無 (○は1つだけ)	介護保険制度の要介護・要支援認定の有無についてお聞きます。							
	1	受けている	1	受けている	1	受けている	1	受けている
	2	申請中	2	申請中	2	申請中	2	申請中
	3	受けていない	3	受けていない	3	受けていない	3	受けていない

※ここからは、世帯の状況について、お答えください。

問11 住宅の種類 (○は1つだけ)	現在お住まいの住宅の種類をお答えください。		・家族名義の家に家賃を払わないで住んでいる場合も「持家」とします。 ※1 勤め先の会社・官公庁や雇主などが所有又は管理している住宅(独身寮を含む。)をいいます。 ※2 シルバーピア、高齢者向けの優良な賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、ケアハウス、認知症高齢者グループホームなどをいいます。																
	1	持家																	
	2	民間賃貸住宅																	
	3	都営・区市営の賃貸住宅や都市再生機構・住宅供給公社などの公的賃貸住宅																	
	4	社宅・公務員住宅などの給与住宅(※1)																	
	5	高齢者向け住宅(※2)																	
	6	間借り・その他																	
問12 建て方 (○はそれぞれ1つずつ)	現在のお住まいはどちらですか。		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 問12-1 共同住宅の戸数はどのくらいですか。 <table border="1"> <tr><td>1</td><td>50戸未満</td></tr> <tr><td>2</td><td>50~100戸未満</td></tr> <tr><td>3</td><td>100~200戸未満</td></tr> <tr><td>4</td><td>200戸以上</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> 問12-2 住んでいるのは何階ですか。 <table border="1"> <tr><td>1</td><td>1階</td></tr> <tr><td>2</td><td>2~3階</td></tr> <tr><td>3</td><td>4~5階</td></tr> <tr><td>4</td><td>6階以上</td></tr> </table> </div> </div>	1	50戸未満	2	50~100戸未満	3	100~200戸未満	4	200戸以上	1	1階	2	2~3階	3	4~5階	4	6階以上
	1	50戸未満																	
	2	50~100戸未満																	
	3	100~200戸未満																	
	4	200戸以上																	
1	1階																		
2	2~3階																		
3	4~5階																		
4	6階以上																		
1	一戸建て																		
2	共同住宅(マンション・アパートなど)																		
問13 エレベーターの有無 (○は1つだけ)	現在のお住まいに、エレベーターはついていますか。																		
	1	ついている																	
2	ついていない																		
問14 居住部屋数	現在のお住まいの部屋数をお答えください。																		
	部屋	<table border="1"> <tr> <th>【部屋数に含むもの】</th> <th>【部屋数に含まないもの】</th> </tr> <tr> <td>居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、仏間、食事室、3畳以上のダイニングキッチン など</td> <td>玄関、台所、便所、浴室、廊下、土間 など</td> </tr> </table>	【部屋数に含むもの】	【部屋数に含まないもの】	居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、仏間、食事室、3畳以上のダイニングキッチン など	玄関、台所、便所、浴室、廊下、土間 など													
【部屋数に含むもの】	【部屋数に含まないもの】																		
居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、仏間、食事室、3畳以上のダイニングキッチン など	玄関、台所、便所、浴室、廊下、土間 など																		
問15 住宅の床面積 ㎡	現在のお住まいの床面積をお答えください。(小数点以下は四捨五入) ※1坪=2畳≒3.3㎡																		
	・上の居住用の部屋のほか、玄関や廊下なども含めた住宅全体のおおよその床面積(営業用の部分は除く。)を記入してください。 ・共同住宅の場合は、自宅の床面積を記入してください。																		

問16 現在のお住まいに住み始めた時期はいつですか。

居住開始時期 (○は1つだけ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	昭和19年以前	昭和20年～29年	昭和30年～39年	昭和40年～49年	昭和50年～59年	昭和60年～平成6年	平成7年～16年	平成17年～26年	平成27年～

・入居した住宅が建て替えられた場合は、建て替え以前の入居時期をお答えください。

問17 現在のお住まいの建築時期はいつですか。

建築の時期 (○は1つだけ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	昭和25年以前	昭和26年～35年	昭和36年～45年	昭和46年～55年	昭和56年～平成2年	平成3年～7年	平成8年～12年	平成13年～17年	平成18年～22年	平成23年～27年	平成28年～令和2年	令和3年

・共同住宅の場合は、建物全体の建築時期をお答えください。
・増改築をした場合、その部分が増改築後の住宅の床面積の合計の半分以上であれば、その時期を建築の時期とします。

問18 1か月の家賃・間代・地代の支払額を記入してください。

家賃・間代・地代

万円	千円
----	----

・共益費、管理費は含めません。
・なしの場合は、「0」と記入してください。

問19 1年間の土地・家屋借入金（住宅ローン）返済額をお答えください。

土地・家屋借入金 (住宅ローン) 返済額 (○は1つだけ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400万円以上	ローンなし

10

問20 別居している子供について (○はそれぞれ1つずつ)

別居している子供はいますか。

1	いる
2	いない

※同居の子供がいる場合でも別居の子供についてお答えください。
※別居している子供の既婚・未婚は問いません。
※子供とは世帯主（代表者）の子供をさします。

問20-1 別居している子供の人数は何人ですか。

□ 人

問20-2 最も近くに住んでいる子供との距離はどのくらいですか。
※時間は、通常行き来する方法（徒歩、電車、車など）でお答えください。
※【隣】とは、左右両隣り、表、裏をさします。外階段を用いて行き来する2世帯住宅、離れなどに住む場合、マンションなどの集合住宅で棟が同じ場合も「隣」とみなします。

1	隣
2	10分くらい
3	1時間くらい
4	それ以上

問21 世帯収入の種類をお答えください。また、そのうち主なものを □ に記入してください。

世帯収入の種類 (○はいくつでも)	1	2	3	4	5	6	7	8
	賃金・給料	事業所得	家賃・地代・利子・配当	仕送り(※1)	年金・恩給	生活保護	雇用保険(※2)	その他の収入

主なもの1つ記入 □

※1 「仕送り」には、単身赴任をしている方の口座から生活費などとして毎月決まって引き出す場合も含まれます。また、現金だけでなく、品物によるものも含まれます。
※2 「社会保障給付金」は、医療保険からの傷病手当金・出産手当金・休業手当金など、労働者災害補償保険法による各種補償費、児童手当法による各種手当をいいます。また、「雇用保険」は、求職者給付、就職促進給付、教育訓練給付などをいいます。

11

問22 世帯で収入があった人全員の令和2年分の収入額の総額をお答えください。
 ※「賃金・給料」は、勤め先から支払を受けた給料、賃金、賞与の合計額としてください。(税金や社会保険料を含む)
 ※「事業所得」は、売上高から必要経費を差し引いた営業利益としてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1000万円未満	1000万円～1100万円未満	1100万円～1200万円未満	1200万円～1300万円未満	1300万円～1400万円未満	1400万円～1500万円未満	1500万円～2000万円未満	2000万円以上

問23 世帯主(代表者)からみた生計中心者はどなたですか。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
本人(世帯主)	配偶者	子	子の配偶者	孫	孫の配偶者	の本人(世帯主)	の配偶者の父母	祖父母	兄弟姉妹	他の親族	その他

・生計中心者とは、食費、住居費など世帯の生活を維持するのに必要な生活費を最も多く負担している人を行い、必ずしも世帯主とは限りません。

問24 令和2年分の生計中心者の収入額の総額をお答えください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1000万円未満	1000万円～1100万円未満	1100万円～1200万円未満	1200万円～1300万円未満	1300万円～1400万円未満	1400万円～1500万円未満	1500万円～2000万円未満	2000万円以上

世帯員に乳幼児(小学校入学前:平成27年4月2日以降出生の人)がいる世帯にお聞きます。

問25 令和3年9月中の育児にかかった金額を記入してください。(2人以上いる場合は合算)

令和3年9月中の育児にかかった費用

万 千円

・保育費、医療費、家具・寝具などの費用、衣服費、衛生費、乳児にかかる費用及びその他(小遣い、おもちゃ代等)の、乳幼児にかかった費用の全てが入ります。
 ・ただし、飲食費、光熱水道費、住居費などは分割不可能なため除外します。

※千円未満は切り捨て

問26 世帯員のうち6歳以上の方に、介護、介助、手助け及び見守りなど(以下「介護等」という。)が必要な人はいますか。(〇は1つだけ)

1 いる 2 いない → 《ここで終了です。ご協力ありがとうございました。》

《介護等を必要とする世帯員の状況をそれぞれお答えください。》

問26-1

介護等を必要とする人【1人目】

介護等を必要とする人の世帯員番号を記入してください。 →

問26-2

介護等が必要になっている主な理由は何ですか。(〇は主なもの1つだけ)

1	身体障害	5	長期間にわたる傷病
2	知的障害	6	認知症
3	精神障害	7	高齢による衰弱
4	発達障害	8	その他()

問26-3

問26-1の方の状態はどの程度ですか。(〇は1つだけ)

1	何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる
2	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない
3	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ
4	1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えにおいて介助を要する

問26-4

問26-3の状態になってからどれくらい経ちましたか。(〇は1つだけ)

1	1月未満	5	1年～3年未満
2	1月～3月未満	6	3年～5年未満
3	3月～6月未満	7	5年～10年未満
4	6月～1年未満	8	10年～20年未満
		9	20年以上

介護等を必要とする人【2人目】

介護等を必要とする人の世帯員番号を記入してください。 →

介護等が必要になっている主な理由は何ですか。(〇は主なもの1つだけ)

1	身体障害	5	長期間にわたる傷病
2	知的障害	6	認知症
3	精神障害	7	高齢による衰弱
4	発達障害	8	その他()

問26-1の方の状態はどの程度ですか。(〇は1つだけ)

1	何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる
2	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない
3	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ
4	1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えにおいて介助を要する

問26-3の状態になってからどれくらい経ちましたか。(〇は1つだけ)

1	1月未満	5	1年～3年未満
2	1月～3月未満	6	3年～5年未満
3	3月～6月未満	7	5年～10年未満
4	6月～1年未満	8	10年～20年未満
		9	20年以上

問26-5

介護等をしている方はどなたですか。
 実際に介護等をしている方全員について、同居の場合は【世帯員番号】を、別居の場合は【続柄】、【性別】をお答えください。
 ※世帯員番号は、3ページ目の上部にある番号です。

介護等をしている方はどなたですか。
 実際に介護等をしている方全員について、同居の場合は【世帯員番号】を、別居の場合は【続柄】、【性別】をお答えください。
 ※世帯員番号は、3ページ目の上部にある番号です。

		介護等をしている方				
		主に行っている方 (1人目)	2人目	3人目	4人目	5人目
同居の場合 (世帯員番号を記入)		世帯員番号 <input type="text"/>				
別居の場合						
介護等 を必要 として いる方 から みた 続柄	配偶者	1	1	1	1	1
	子	2	2	2	2	2
	子の配偶者	3	3	3	3	3
	孫	4	4	4	4	4
	父母	5	5	5	5	5
	兄弟姉妹	6	6	6	6	6
	他の親族 (続柄)	7 ()				
	事業者 (ホームヘルパー等)	8	8	8	8	8
	その他 (具体的に)	9 ()				
	介護をしていない人	10				
性別	男	1	1	1	1	1
	女	2	2	2	2	2

		介護等をしている方				
		主に行っている方 (1人目)	2人目	3人目	4人目	5人目
同居の場合 (世帯員番号を記入)		世帯員番号 <input type="text"/>				
別居の場合						
介護等 を必要 として いる方 から みた 続柄	配偶者	1	1	1	1	1
	子	2	2	2	2	2
	子の配偶者	3	3	3	3	3
	孫	4	4	4	4	4
	父母	5	5	5	5	5
	兄弟姉妹	6	6	6	6	6
	他の親族 (続柄)	7 ()				
	事業者 (ホームヘルパー等)	8	8	8	8	8
	その他 (具体的に)	9 ()				
	介護をしていない人	10				
性別	男	1	1	1	1	1
	女	2	2	2	2	2

介護等をしている方のうち、「同居」の方についてお聞きします。

問26-6

介護等を始める前と比較して、学業や仕事、収入への影響はありますか。(〇はいくつでも)

※ の中には、3ページ目上部の世帯員番号を記入してください。

※問26-5において、複数の世帯員の介護等をしている方も、この設問では1つの欄に回答を記入してください。

		介護等をしている同居の方				
		世帯員番号 <input type="text"/>	世帯員番号 <input type="text"/>	世帯員番号 <input type="text"/>	世帯員番号 <input type="text"/>	
現在、 介護等 による 影響あり	学業	休学中	1	1	1	1
		退学	2	2	2	2
		進学の見送り	3	3	3	3
	仕事	同一職場内での 勤務形態の変更	4	4	4	4
		転職	5	5	5	5
		休職中	6	6	6	6
		離職中	7	7	7	7
		就職の見送り	8	8	8	8
	収入の減少	9	9	9	9	
	その他(具体的に)	10 ()	10 ()	10 ()	10 ()	
	過去に影響を受けたが、 現在はほとんど影響はない	11	11	11	11	
	ほとんど影響はない	12	12	12	12	

ご協力ありがとうございました。

秘

総務省 届出 済
東京都指定統計調査第4号



令和3年11月12日(金)
までにポストに投函をお願いします

「令和3年度東京都福祉保健基礎調査」 調査票②

【調査の目的】

この調査は、現在満20歳以上の都民の方に、東京都の福祉のまちづくりや子育て支援などについてお聞きするものです。
この調査は昭和56年から5年ごとに行っており、今回が9回目です。都民の生活や考え方が時代とともに、どのように変わっているかを知る貴重なデータとして、これまでの調査を東京都の福祉保健施策に活用させていただいております。

【機密保持について】

この調査票にご記入いただいた内容は、統計作成のみに使用し、他の目的で使うことはありません。
また、調査結果は、「〇〇と回答した人が50%」というように、個人が特定されない形でまとめます。
お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただけますようお願いいたします。

※ 問合せ先は裏表紙にございます。

..... (調査員が記入)

回答状況				
1	2	3	4	5

調査票	調査番号		回答者
	地区番号	世帯番号	
2			

調査地区	区市町村
------	------

<この調査についてのお問合せ先>

東京都福祉保健局 総務部 総務課 福祉保健基礎調査担当

電話 平日 03-5321-1111 (代表) 内線32-017

土日 03-5320-4011 (直通)

受付時間は、午前9時から午後5時30分までです。

※土日は、11月7日(日曜日)まで電話受付しています。

FAX 03-5388-1400

- 1 ご回答いただく方
- できる限り、ご本人がご記入ください。
 - ご本人が文章を読むことや書くことが難しい場合は、大変お手数ですが、ご家族や介護されている方などが読み上げたり、代筆していただくなど、ご協力いただければ幸いです。
- 2 回答方法
- **令和3年10月13日現在の状況**をご回答ください。
 - 黒のボールペン又は鉛筆で記入してください。

問：特に断りがない限り、**全ての方が**お答えください。

問：問 で特定の回答をした方のみ、矢印に従って回答してください。

○ 「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を () 内に記入してください。

○ 以下のとおり、太枠内のおてはまる番号に○をつけて回答してください。

1	男
2	女
3	その他

番号の背景が白い場合は、
あてはまるものに1つだけ
○をつけてください。

1	配偶者
2	子供
3	兄弟姉妹

番号の背景に色がついている場合は、
あてはまるもの全てに○をつけて
ください。

1	病気
2	仕事
3	人間関係
4	ない

白と色つきの両方の背景がある場合は、
どちらか一方に○をつけてください。
白を選んだ場合は、○は1つだけ、
色つきを選んだ場合は、あてはまる
もの全てに○をつけてください。

例3：悩みごとはありますか？

1	病気
2	仕事
3	人間関係
4	ない

白と色つきの両方の背景がある場合は、
どちらか一方に○をつけてください。
白を選んだ場合は、○は1つだけ、
色つきを選んだ場合は、あてはまる
もの全てに○をつけてください。

基本事項

あなたの性別・年齢（令和3年10月13日現在）を教えてください。

性別	年齢
1 男	歳
2 女	
3 その他	

外出時の状況などについて

問1 次の①から⑧までの全ての質問に、お答えください。(○はそれぞれ1つずつ)
※ 令和3年10月13日現在の状況をお答えください。

①	あなたは、視覚に何らかの障害があるために、外出の際、視覚障害者用の杖などを利用したり、介助者が必要とすることがありますか。	1	2
②	あなたは、聴覚に何らかの障害があるために、外出の際、補聴器などを利用したり、介助者が必要とすることがありますか。	1	2
③	あなたは、肢体（※）に何らかの障害があるために、外出の際、車いすや杖、歩行器、義肢などを利用したり、介助者が必要とすることがありますか。 ※肢体とは、上肢（手と腕）や下肢（足と脚）、体幹や骨柱（胴体と首骨）をさします。	1	2
④	あなたは、体の内部に何らかの障害があるために、外出の際、医療機器（ペースメーカーや携帯用ポンプなど）や車いす、杖などを利用したり、介助者が必要とすることがありますか。	1	2
⑤	あなたは、上記①～④以外の何らかの障害があるために、外出の際、何らかの機器や用具を利用したり、介助者が必要とすることがありますか。	1	2
⑥	あなたは、何らかの理由があるために、外出の際、周囲の支援や理解を必要とすることがありますか。	1	2
⑦	あなたは現在、乳幼児を連れて外出することがありますか。	1	2
⑧	《女性のみにお聞きします。》 あなたは現在、妊娠していますか。	1	2

問2

あなたの外出頻度についてお聞きします。
(〇はそれぞれ1つずつ)

新型コロナウイルス感染症の 感染拡大前 (令和2年2月頃)		現在 (令和3年10月)	
1	ほぼ毎日	1	ほぼ毎日
2	週4日程度	2	週4日程度
3	週2～3日程度	3	週2～3日程度
4	週1日程度	4	週1日程度
5	月1日程度	5	月1日程度
6	ほとんど外出しなかった	6	ほとんど外出しない

3

まちの中での体験などについて

問3

あなたは、過去1年くらいの中に、外出の際、高齢者・障害のある方・妊産婦・乳幼児を
連れの方などが困っているのを見かけたことはありませんか。
(〇は1つだけ)

ある	ない
1	2

問4 (次のページ)へ

問3-1

その時、あなたはどのようにしましたか。
(〇は最も近いもの1つだけ)

1	積極的に自ら手助けをした
2	相手から求められて手助けをした
3	話しかけたり、声をかけたりしたが、 手助けまで至らなかった
4	何もしなかった
5	その他 ()

問3-1-1

どのような手助けをしましたか。
(〇はいくつでも)

1	荷物を持った
2	横断歩道や通行しにくい道路で 誘導したり、手を引いた
3	階段の昇り降りのときに手を貸した
4	電車、バスの乗り降りのときに 手を貸した
5	車いすやベビーカーを押したり、 持ち上げたりするのを手伝った
6	乗り物などで席を譲った
7	道を教えた
8	扉を開けた
9	困っている人の家族などに連絡を した
10	その他 ()

問3-1-2

「何もしなかった」理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

1	忙しかった、急いでいた
2	自分も困っていて、他の人を手助け できる状況ではなかった
3	照れや恥ずかしい気持ちがあった
4	他の人が手助けすると思った
5	手助けの方法がわからなかった
6	自分一人では無理だと思った
7	手助けをしてよいものかわから なかった
8	手助けしたくなかった
9	その他 ()

4

問4 あなたは、過去1年くらいの間に、外出の際、誰かの手助けを必要と感じたことはありますか。(〇は1つだけ)

ある	ない
1	2

問5 (次のページ)へ

問4-1
どのような手助けが必要でしたか。(〇はいくつでも)

1	荷物を持つのを手伝ってほしかった
2	横断歩道や通行しにくい道路で、誘導したり、手を引いたりしてほしかった
3	階段の昇り降りの際に手助けがほしかった
4	電車、バスの乗り降りの際に手助けがほしかった
5	車いすやベーカーを押したり、持ち上げたりしてほしかった
6	乗り物などで席を譲ってほしかった
7	道を教えてほしかった
8	扉を開けてほしかった
9	自分の家族などに連絡してほしかった
10	その他()

現在の東京のまちの印象について

東京都では、「東京都福祉のまちづくり条例」(※1)を制定し、高齢者、障害のある方を含めた全ての人が安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるまちづくりを推進しています。特に、東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、福祉のまちづくりの進展に向け、当事者参画を踏まえた気運醸成や施設整備、更に、大会後のレガシーとなり得る情報・リテラシーや心のリテラシーの取組を進めてきました。

問5 現在の東京のまちにおける建物、道路、駅、電車などの施設や設備の「リテラシー」(※2)化の状況について、どのような印象をお持ちですか。(〇は最も近いもの1つだけ)

1	進んでいる	}	問5-1 (次のページ)へ
2	やや進んでいる		
3	あまり進んでいない	}	問6 (8ページ)へ
4	進んでいない		
5	その他()		

※1 「東京都福祉のまちづくり条例」とは…
東京都は、福祉のまちづくりの一層の推進を図るため、平成7年3月に「東京都福祉のまちづくり条例」を制定し、バリアフリー化を進めてきました。平成21年4月には条例を改正し、高齢者や障害者などを含めた全ての人が安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるユニバーサルデザイン(P8参照)の理念に基づいたまちづくりの実現を目指しています。

※2 「リテラシー」とは…
高齢者や障害者などが日常生活や社会生活を送る上で障害となるような社会における建物、制度、慣行、観念、その他一切の社会的障壁(バリア)をなくすことです。

《問5で「1 進んでいる」「2 やや進んでいる」を選んだ方にお聞きします。》

問5-1 どのような点で/リアフリー化が進んだと思いますか。(〇はいくつでも)

	(具体例)
1	公共交通施設や公共交通機関の整備 ・駅のエレベーター設置 ・ホームドアの整備 ・ノンステップバス等の整備 ・出入口等の幅の確保 ・スロープの設置
2	建物内の整備
3	道路の整備 ・車道と歩道の分離 ・歩道の段差を少なくする ・歩道の勾配を緩やかに改善 ・岡路等の段差解消 ・ベンチやトイレ設置
4	公園、河川の整備
5	建物、道路、公園、公共交通施設などの 連想的、一体的、計画的な整備 ・リアフリー基本構想等の策定 ・駅から公共施設など連想的な整備
6	高齢者や障害者が住みやすい住宅の整備 ・車いす使用者向け住宅の整備 ・住宅への手すりの設置など
7	高齢者や障害者の社会参加を支える仕組みづくり ・点字、音声による刊行物の配布 ・手話通訳者の配置 ・ヘルプマーク(※)の推進
8	災害時における要配慮者の安全対策 ・避難誘導、案内標示の整備 ・避難場所の確保 ・食料など必需品の準備
9	わかりやすく利用しやすい情報提供の充実 ・案内標示等の設置 ・音声や携帯端末を利用した情報提供 ・車いす使用者等が使いやすいトイレや駐車スペース等の適正利用を目的としたバリアフリーの作成 ・障害者等の理解推進を目的としたシンポジウムの実施
10	「福祉のまちづくり」の普及啓発の充実 ・福祉のまちづくり功労者の表彰制度など
11	当事者の意見を反映するための仕組みづくり ・都民、事業者、行政による情報交換の場の設定
12	児童、生徒へのユニバーサルデザイン教育 ・高齢者や障害者等と交流しながらの体験 ・高齢者や障害者等の支援方法、コミュニケーション方法の学習 ・障害者スポーツを通じた理解等
13	地域住民を対象としたユニバーサルデザインに関する学習機会の提供 ・まち歩き点検によるリアフリーマップの作成等
14	地域のユニバーサルデザインに関する取組を主体的に担う人材の養成 ・地域住民向けのまち歩きやワークショップの講師を担当する人材(福祉のまちづくりサポーター)の養成等
15	店舗等における接遇の向上 ・店舗等において、従業員が障害特性やそれに合わせた配慮の方法を理解し、接客するようになった
16	民間事業者による普及啓発 ・車いす用のトイレや駐車スペースの不適正利用者に対する声掛け ・館内放送・ポスター等による適正利用の呼びかけ ・キャンペーン実施、広告物の作成等
17	行政による普及啓発
18	その他 ()

※ 「リアフリー」とは…
 援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。
 (例) ・義足や人工関節を使用している方
 ・内部障害や難病の方 など
 ・妊娠初期の方 など



ユニバーサルデザインについて

問6 「ユニバーサルデザイン」という言葉や意味についてお聞きします。(〇は1つだけ)

1	以前から言葉も意味も知っていた
2	言葉は知っていたが、意味は今回始めて知った
3	言葉も意味も、今回はじめて知った
4	その他 ()

「ユニバーサルデザイン」とは…
 年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、はじめからできるだけ多くの人が利用可能なように都市や生活環境をデザインすることです。その対象は、ハード(都市施設や製品など)からソフト(教育や情報、サービスなど)に至るまで多岐にわたっています。

- ◆ ユニバーサルデザインの具体的な事例
- ・床が低く、高齢の人や子供でも乗り降りしやすく、また、スロープをかければ車いすの方も容易に利用できるノンステップバス
 - ・点字や音声案内、外国語での表記や色遣いに配慮するなど、だれにでもわかりやすい案内サイン
 - ◆ 東京都におけるユニバーサルデザインの5原則
 - ・公平 (だれもが同じように施設や設備を利用できる。)
 - ・簡単 (利用者の知識や能力、状況に難解なく容易に施設や設備を利用できる。)
 - ・安全 (特別な注意を払わなくとも危険なく施設や設備を利用できる。)
 - ・機能 (使い勝手よく施設や設備を利用できる。)
 - ・快適 (気持ちよく施設や設備を利用できる。)

心のバリアフリーについて

問7 「心のバリアフリー」という言葉や意味についてお聞きします。
(〇は1つだけ)

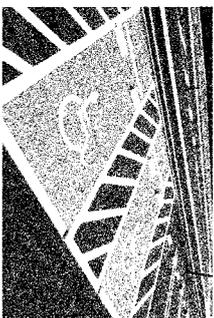
1	以前から言葉も意味も知っていた
2	言葉は知っていたが、意味は今回始めて知った
3	言葉も意味も、今回はじめて知った
4	その他 ()

心のバリアフリーとは… _____
誰もが円滑に移動し、様々な活動を楽しめるまちづくりを進めるため、全ての人
が平等に参加できる社会や環境について考え、必要な行動を続けることです。

問8 現在の東京のまちにおける、車いす利用者等が使いやすい幅広い駐車スペースの
利用状況等について、どのような印象をお持ちですか。
(〇は最も近いもの1つだけ)

※ この設問における「適正に利用されていない」状況とは、通常の駐車スペースで乗り降り
できる人が幅の広い駐車スペースに駐車しているために、車いす利用者等が駐車できない状
態を言います。

1	適正に利用されている
2	ある程度適正に利用されている
3	あまり適正に利用されていない
4	適正に利用されていない
5	その他 ()



問9 心のバリアフリーの推進のために効果的だと思う取組は何ですか。
(〇はいくつでも)

	《 具体例 》
1	児童、生徒へのユニバーサルデザイン教育 ・高齢者や障害者等と交流しなからの体験 ・高齢者や障害者等の支援方法、コミュニケーション方法の学習 ・障害者スローリを通じた理解等
2	地域住民を対象としたユニバーサルデザインに関する学習機会の提供 ・まち歩き点検によるバリアフリーマップの作成等
3	地域のユニバーサルデザインに関する取組を主体的に担う人材の養成 ・地域住民向けのまち歩きやワークショップの講師を担当する人材（福祉のまちづくりサポーター）の養成等
4	民間事業者が従業員に対して行う接遇向上研修 ・民間事業者による従業員への接客研修（障害特性や配慮の方法）等
5	民間事業者による普及啓発 ・車いす用のトイレや駐車スペースの不適正利用者に対する声掛け ・案内放送・ボスター等による適正利用の呼びかけ
6	行政による普及啓発 ・キャンペーン実施、広告物の作成等
7	その他 ()

まちの中での情報提供について

問10

あなたが外出したときに、行きたい建物や施設への案内標示、駅などの乗り換えの誘導標示など、まちの中の標示や説明がわかりやすく整備されているかどうかについてお聞きします。(Oは1つだけ)

1	整備されている
2	やや整備されている
3	あまり整備されていない
4	整備されていない

問11

今後、まちの中の案内標示や説明をよりわかりやすいものに整備していく上で、特に力を入れてもらいたいことは何ですか。(Oはいくつでも)

1	案内標示などを絵で標示する
2	案内標示などを大きい文字で標示する
3	カラーユニバーサルデザイン(※)に配慮する
4	現在の案内標示などに説明を加えたり、余分な説明を削除するなど、必要な情報が伝わりやすいように整理する
5	案内標示などを複数の言語で表記する
6	スマートフォンアプリなどを活用した詳細情報を提供する
7	案内標示などをわかりやすい場所に設置する
8	案内標示などの数を増やす
9	案内標示などの内容を頻繁に更新するなど、常に新しい情報を標示する
10	その他()

※ カラーユニバーサルデザインとは…

様々な色の見え方に配慮して、情報がなるべく全ての人に正確に伝わるように、利用者の視点に立ってデザインすることです。カラーユニバーサルデザインに配慮するためには、色弱者が混同しやすい色を組み合わせて使わないことや、明度や彩度・形状の違い、文字、記号などを併用して色に頼らなくても情報が得られるようにすることが必要です。

住まいのバリアフリーの状況について

問12

あなたが現在お住まいになっている住家で、バリアフリー化が進んでいないために、日常生活において、不便を感じるところはありますか。(Oは1つだけ)

ある	ない
1	2

問13

(次のページ)へ

問12-1

それはどこですか。(Oはいくつでも)

【一戸建てにお住まいの方】

1	道路から住宅の玄関に至るまでの通路(段差がある、幅が狭いなど)
2	住宅の玄関(段差がある、幅が狭いなど)
3	室内の廊下(段差がある、幅が狭いなど)
4	室内の階段(手すりがない、傾斜が急など)
5	居間や台所、寝室などの居室(段差がある、幅が狭いなど)
6	お風呂、洗面所(手すりがない、段差がある、狭いなど)
7	トイレ(段差がある、幅が狭いなど)
8	その他()

【共同住宅(マンション、アパートなど)にお住まいの方】

1	道路からマンション、アパートなどの共同住宅の共用出入口に至るまでの通路(段差がある、幅が狭いなど)
2	共用部分(※)の通路(1以外の部分)(段差がある、幅が狭いなど)
3	共用部分の階段(手すりがない、傾斜が急など)
4	共用部分のエレベーター(エレベーターがない、幅が狭いなど)
5	各住戸の玄関(段差がある、幅が狭いなど)
6	室内の廊下(段差がある、幅が狭いなど)
7	居間や台所、寝室などの居室(段差がある、幅が狭いなど)
8	お風呂、洗面所(手すりがない、段差がある、狭いなど)
9	トイレ(段差がある、幅が狭いなど)
10	その他()

※共用部分とは…

専有部分以外の部分で、居住者が共同して使用する出入口、廊下、階段、エレベーターなどをいいます。